

道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2024 Summer No.31

- 巻頭言 「継続は力なり」
- 「第167回北海道歯科技工学術研修会」報告 北海道歯科技工士会 常務理事 石井 友和
- 「鋳造から切削加工へ ミリングチタン床の良さ」前編 札幌歯科技工士会 四釜 一
- 「社員総会報告」 北海道歯科技工士会 専務理事 廣田 高志
- 地域組織から一言 北見歯科技工士会 会長 行元 高雄
- 「北海道社会貢献賞を受賞されました杉岡範明氏に思うこと」
北海道歯科技工士会 会長 扇 照幾
- 「Lilac」函館歯科技工士会 会長 佐藤 浩充
- 令和5年度 優秀学生表彰
- 「歯科技工における手話表現・見える言葉」 札幌歯科技工士会 工藤 三重子
- 理事会報告
- お知らせ メーリングリスト登録について/Facebook X (旧Twitter) Instagram開設
について/広報会誌掲載写真募集について
- 新入会員紹介/編集後記
- 活動・会員特典の紹介

PC用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/top.html>

携帯用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/keitai.html>

表紙 / 継続は力なり / 歯科技工における手話表現・見える言葉 / お知らせ / 編集後記 写真 札幌歯科技工士会 海津雅隆

継続は力なり

物事を続けることの大切さを表した言葉「継続は力なり」。座右の銘としてもよく使われる格言です。何事も続けることが大切だとわかってはいるのですが、なかなか続かないことが多いですね。何かを始めるとき「よしやろう！」と意気込み新たに取り組むのですが、仕事が忙しかったり、家事の時間で精いっぱいだったり、最初に決めたことを継続するのは本当に難しいと感じます。だからこそ「継続は力なり」という言葉の通り、継続することは「力」なのだと思います。

「継続は力なり」には大きく二つの意味があると言われています。

1つ目の意味（表の意味）は、一般的に「継続することの重要性」を表しており、実用日本語表現辞典では次のように述べられています。

- ・個々の成果は微々たるものであっても、地道に成果を積み重ねていけば、やがて大きな事業を達成できる。目標を達成できる。
- ・今は実力不足であっても、挫けずに修練を積んでいけば、いずれ大成できる。

つまり、「どんな小さなことであっても継続していればやがて大きな成果となる」という意味をもっています。だから、結果がすぐに出なくても途中で投げ出すのではなく、地道に続けていくことが大切だということなのです。「継続することがやがて力になる」ということです。

2つ目の意味（裏の意味）としてさきほどと同様に、実用日本語表現辞典から引用してみると

- ・物事を成し遂げるまで諦めずに取り組み続けるということは、それ自体、優れた能力のひとつである。

「継続は力なり」の裏の意味としては、「継続することはそれ自体、力の証である」ということです。冒頭でも触れましたが、何を行うにしても継続することはなかなか難しいものです。場合によっては強固な意志も必要でしょう。だからこそ、継続することができれば、その継続してきたという事実は、本当に素晴らしく、それ自体「力」や強い意志の証と呼べるものではないか、これが裏の意味なのです。

北海道歯科技工士会ももうすぐ70周年を迎えようとしています。先達方の継続により今があると思います。目の前の課題、問題に「継続の力」を持って取り組みたいですね。



● ● 第167回 北海道歯科技工学術研修会 開催報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 石井 友和

2024年2月17日（土）に旭川市大雪クリスタルホールを会場に第167回北海道歯科技工学術研修会を対面形式で開催致しました。

講演Ⅰでは旭川で開業されているThe northern lights DC studioの辻秀憲先生に『歯周組織に調和した補綴装置を目指して』と題してご講演いただきました。

歯周組織に調和した補綴装置を製作するための形態的配慮など、臨床症例を通して基本からわかりやすく解説していただきました。また、インプラント治療においてプロビジョナルレストレーションで形態を煮詰めることや、ポンティック形態の重要性などを示していただきました。辻先生は治療初期から歯科医師との綿密なコミュニケーションを大切にされ、チェアサイドとの連携を臨床例と共に示していただき明日からの臨床に活かせるお話をいただきました。

講演Ⅱでは旭川で開業されているエステティック・アート・デザインの木村義明先生に『CAD／CAMで製作する高精度なデンチャーメタルフレーム』と題してご講演いただきました。

アナログからデジタルへの移り変わりを、長年の取り組みと共に解説していただきました。今回の講演では、デンチャーフレームに焦点をあて、WAXディスク、3Dプリンター樹脂、WAXディスク&光重合パターンレジンの3パターンを使い分けてご提示いただき、臨床例を通して解説していただきました。WAXディスク、3Dプリンター樹脂の種類も豊富にある中、どのような機器や材料が良いかも解説していただきました。デジタルを活用し従来法と比べ作業時間を約40%程度短縮され、技工業界の課題でもある、人手不足や長時間労働からの解放など、将来を見据えてのお話もされ、今後の取り組みを改めて考えさせられる、大変貴重な講演をしていただきました。

今回の研修会は対面のみの開催となりましたが、40名を超える参加者となり大変に熱のこもった研修会となりました。

最後になりますが、今回の研修会におきましては旭川歯科技工士会の皆様に多大なご協力をいただき無事に研修会を終えることが出来ました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後とも北海道歯科技工士会の研修会運営にご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



「鋳造から切削加工へ ミリングチタン床の良さ」前編

札幌歯科技工士会 四釜 一

・はじめに

チタンは、1980年代ごろ歯科補綴分野で注目され始めてきた¹⁾。しかし、融点が高く酸素と結合しやすいため鋳造が難しく、製作できる歯科技工所は限定的だったように思われる。

筆者が勤務する和田精密歯研では、1985年からチタン鋳造の研究をおこない、1989年にチタン床の臨床技工を開始し、現在までのおよそ35年間のチタン鋳造の実績がある。強度があり生体適合性の高いチタンではあるが、鋳巣や鋳造欠陥などが発生することもあり、鋳造技術のノウハウの構築など難しさもあった。

しかし、現在ではCAD/CAM技術の発展により、鋳造からチタンディスクの切削加工へ転換され、チタン床の多くを切削加工で製作している。その優位性は、鋳造欠陥や偏析がないチタン本来の素材なので物性が安定していること、デジタル設計による高い加工精度により品質が安定していることが挙げられる。設備投資は必要になるが、切削加工時間や製作コストなど現実的なものになっている。鋳造から切削加工への転換とミリングチタン床の良さについて述べたい。

・チタンの特徴

1. メリット

チタンは生体親和性の高い材料として様々な分野で応用されている。医科においては人工関節やや補助人工心臓など、歯科においてはチタン製インプラントが人工歯根として応用され、最近ではチタン冠も保険収載された。

軽量で強度も高く錆びにくい耐久性に優れた金属のため、航空や宇宙関連、あるいは建築や土木などにも広く応用されている (Fig1,2)。また、炎症やアレルギーを起こしにくいことから、腕時計や眼鏡、アクセサリーなどにも用いられ、金属味がしないことから食器やタンブラーなど日常の中でも身近なものになっている。



Fig.1 チタンは重さあたりでは、アルミニウムの約3倍、鉄の約2倍の強度がある。日本チタン協会文献引用²⁾



Fig.2 チタンは、海水中では白金に匹敵する耐食性を発揮、鉄の主要金属より優れている。日本チタン協会文献引用²⁾

軽量のチタンの優位性を調べるために、同様の設計でコバルトクロムを鋳造したものとチタンを切削加工したものを比較してみたところ、約半分の軽さであることが確認できた (Fig.3)。



Fig.3 左がコバルトクロム床：比重8.2g/cm³、右がチタン床：比重4.4g/cm³

2. デメリット

一般的なデメリットとして、鉦石から金属にする過程でコストが掛かり、需要に対して供給が少ないので、他の鉄鋼金属に比べると値段が高いことが挙げられる。また、加工においても難しいとされているが、歯科技工においてはチタン鋳造の難しさが挙げられる。

チタンは比重が小さいため、動粘度が低く湯周りが良くない。酸素との親和力が強いので真空溶解

炉を使う必要があり、酸素と結合しないように铸造するのが難しい。少しでも結合してしまうと铸造欠陥が発生してしまうことがあるので、铸造時、真空にしてアルゴンガスを充満させ酸素を抜き铸造する必要がある (Fig.4)。



Fig.4 左から、チタン铸造機・真空溶解炉・溶解中・铸造後

铸造後はX線透視装置にて铸造欠陥の確認をするが、薄白く映っている箇所が铸造欠陥の铸巢になる (Fig.5)。铸造後、チタン床の表面に铸巢がないと思っても、レントゲンで確認すると铸造欠陥がある場合もあるのでレントゲン撮影は必ず行う必要があった。铸造欠陥が大きい場合は、強度に影響するので再製作するが、比較的小さなものはレーザー溶接機で補正する。いわゆる従来の铸造法の大きなデメリットは、铸造欠陥を伴うことと、物性の安定性が劣ることであった。



Fig.5 X線透視装置で铸造欠陥を検査 ※矢印箇所

・アナログとデジタルの比較

現在、設計においてはアナログ技工とデジタル技工とも、従来通りサベイヤーを使用している。

その後、アナログ技工は、模型のブロックアウト・リリース→耐火模型の製作→パターン形成→埋没→铸造。一方、デジタル技工は、ラボ用スキャナーでスキャン→CADにてパターンデザイン→NCプログラム作成→歯科用ミリングマシンにてチタンディスクの切削加工。

このように金属に置き換えるまでの工程において、工程数の減少など作業時間短縮のメリットがある。また、耐火模型埋没後の硬化待ち時間や、電

気炉の焼成時間が無くなるなど様々な優位性がある (Fig.6)。



Fig.6 アナログ技工とデジタル技工のワークフロー比較³⁾

さらに従来のアナログ技工では、各工程で使用する材料の膨張や収縮に対して補正を行いながら適合精度を高める技術が必要であった。これらの作業において、歯科技工士の熟練度の差が品質に影響を及ぼしていたことは否めない。

一方、デジタル技工においては、各工程における膨張や収縮といった材料の特性に影響されることなく、デジタル設計によって数値化できるため高精度で安定した品質で製作することができる。

後編では、アナログとデジタルの各工程の比較とミリングチタン床の精度検証について報告する。

第11回 社員総会報告

公益社団法人北海道歯科技工士会 専務理事 廣田 高志

5月18日（土）に北海道歯科技工士会館において第11回社員総会が開催された。

今年度の社員総会も感染対策を考慮して対面形式で行われた。

議長団の選出にあたり議場に諮ったところ執行部一任との意見を受けたので議長に十勝歯科技工士会の千葉真一氏、副議長より札幌歯科技工士会の大江利和氏を選出、議長団の挨拶があった後、副議長より氏名点呼がされ、出席代議員24名・委任状提出代議員5名（全代議員総数29名）、定款19条にある社員総会は成立すると報告された。これを受けて議長より社員総会開会宣言された。

次に議事録署名人を指名するにあたり議長が議場に諮ったところ執行部一任との意見を受けて札幌歯科技工士会 東真人代議員、釧路歯科技工士会 伊藤誠治代議員を指名された。議事運営委員会委員長の清水寛氏より議事進行に関しての説明・報告がされ円滑に議事が進むよう協力要請があった。

その後、藤王常務理事により今年度の物故会員のご芳名を読み上げ物故会員に対して黙祷を捧げた。

扇会長より今社員総会を開催にあたり元日におきた令和6年能登半島地震において甚大な被害があり被災された方々にお見舞い申し上げると同時に復興を願っている。改めて昨年の任期満了に伴う役員選挙を経て新体制が始まり会務運営にご協力いただき感謝と謝礼を申し上げた。また北海道歯科技工士会創立70周年という節目を迎えることもあり式典・祝賀会等の準備を進めていき与えられた任期の中で創立70周年という記念事業を成功に開催されるよう尽力する。そして社員総会が責任と使命を共有した有識者の会議となるようにと挨拶された。

一般会務報告にうつり、廣田専務理事より会務報告があった。

議案に入り、廣田専務理事より「第1号議案 2023年度事業経過報告承認の件」が上程され資料に沿って報告された。併せて「第2号議案 2023

年度会計収支決算承認の件」の上程を廣田専務理事より資料を参照し当期における決算報告をされた。続いて山本英樹監事より監事監査報告が行われた。第1号議案・第2号議案ともに質疑応答はなく、出席代議員24名および委任状提出代議員（賛成5名）をもち全会一致で承認された。

廣田専務理事より第3号議案「外部監事選任の件」が上程され、議案の説明が行われ質疑応答はなく出席代議員24名および委任状提出代議員（賛成5名）をもち全会一致で承認された。

その後政氏副会長より日技生涯研単位取得者の発表があり釧路歯科技工士会 澤田智之代議員を代表として日技生涯研修修了証を授与された。

協議事項では定款第10章「公告の方法」一部改正の件の説明があり、検討したが予算上実行が難しいと判断し従来通りのままで行うと報告された。また、参与会規程一部改正の件について説明があり、議場に諮り協議された。質問要望事項では旭川歯科技工士会より職域の拡大を視野に入れた歯科技工士法の改正や広く一般の方々に歯科技工士という職業を周知していただくことでなり手不足のこの現状を改善できるのではないかと質問があった。

報告事項にうつり執行部より本資料および補助資料での報告・説明がおこなわれた。

長口副会長より北海道歯科技工士会創立70周年記念大会について実行委員会の設立および運営に関する日程が報告され各表彰者の推薦を各地域組織に依頼するので表彰対象者を調査していただきたいと説明された。その他に国家資格等オンライン・デジタル化に伴う会員等のマイナンバーカード取得推進について、開設届出のなされた歯科技工所への管理番号の付与について、次年度の学術研修会の日程・講師選定について各担当から報告された。

以上すべての審議を終え、議長より議事日程がすべて滞りなく終了されたとし閉会宣言がされ第11回社員総会が終了した。

開業者に聞く 「シンクライトデンタルプロダクト」

北見歯科技工士会 会長 行元 高雄

私が開業した時期は昭和64年バブルの少し前です。当時は開業される歯科医師が多く、オホーツク管内で3か月に1件位あったように思います。歯科技工所は10件ぐらいでしょうか。歯科医院に伺うだけで仕事がお預かりできました。技工料金も比較的高めでしたがそれも長くは続きませんでした。道内の大手ラボさんに比較的安めの料金で荒らされました。その中で会員の皆様と何とか頑張ってみました。料金の値下げ要求、会員のダンピング、それに伴い退会者が少しずつ増えました。そうした時節に、7：3技工料金大臣告示があり期待していましたが、“概ね”が文頭に付き、「なんだかなあ」といった状態となりました。社会から見ると一般的ですが、個人交渉は今でも行われています。

私の所も1人、2人とスタッフが増えていきましたが、平成15年頃より1つの歯科医院より預かる模型の量が少なくなり同業者が増え、1つの歯科医院に何件もラボさんがお付き合いしている状態となりました。そのためスタッフにフルに掛けられている保障関係や、厚生関係の重圧により、スタッフには卒業していただくことになりました。

平成15年頃より臨床に入り始めたジルコニアですが、現在は同市に加工センターがあるので模型のやり取りになりました。しかし、私の所は補綴がメインですので、当時は模型をスキャンして

データを加工センターに送り、ジルコニアフレームが送り返されてくるデジタル技工の走りを体験しました。

今後は巷でいわれているDX（デジタルトランスフォーメーション）、生成AI、デンタルマッチングアプリなどこれらが組み合わさり、歯科医師、歯科技工士の境目が曖昧となり、歯科医師が補綴物を作製できるようになるのではないのでしょうか。今はまだ歯科技工士がマシンを操作していますが、どのマシンでも遠隔操作可能ですので若い先生は抵抗なく操作できると思います。では歯科技工士はどうでしょうか。実際の臨床とDXとの差異を見つけ、歯科医師、患者さんと補綴物をベストマッチングさせることでしょうか。歯科界は他の製造業から見れば進化は遅いですが、若い歯科技工士は画面を見ながら補綴物を作るのが主流となりつつあります。

人口減少、歯牙の再生医療、齲蝕の減少など変革の流れが来ています。お分かりの通り歯科技工士もかなり減少しています。労働条件、賃金体系など他の業種より低いため、歯科技工士のなり手が少なくなっているのです。デジタル歯科技工を増やすことを厚生労働省は考えているようですが、今の社会では、30年間ほど賃金は上がっていませんが、歯科技工料金も上がっていません。我々の世代、後世に何が残せるのか力不足を感じ得ません。



北海道社会貢献賞を受賞されました杉岡範明氏に思うこと 仁徳を兼ね備えた人 ～ The Soul of Japan ～

公益社団法人北海道歯科技工士会 会長 扇 照幾

令和5年に北海道社会貢献賞を受賞されました杉岡範明氏から、私は多くの学びを得ました。今もなおその影響力は衰える事はありません。今回は私が感じた杉岡範明氏の魅力の一部を回想録としてご紹介させていただきます。

私は、杉岡氏との初対面の感想を今でも情景とともに記憶しています。当時、平成10年、滝川市で開催される学術大会の詳細を詰めるため、空知の副会長で学術担当をされていた杉岡氏と歯科技工士会館の会長室で挨拶を交わしました。明らかに年下の私に対して杉岡氏の態度は、こちらが恐縮するくらい真剣に話を聞こうとする姿勢でした。杉岡氏の眼差しを受けて、いつも以上にもっと丁寧に説明をしなければと緊張を増していく感じを憶えています。これはかなり以前の話ですが、薄らぐ事のない初対面の感想です。

今でもこの事を忘れない理由として、杉岡氏の対人コミュニケーション力が大きい事にあると思います。杉岡氏と対面する人物の表情や良いアクションを見るたびに、予想通りの反応だったとその記憶が更新されてきたからであろうと思います。人に対する接し方や態度について高い品性がありましたので、お会いした方が好印象をもたれたのは当然の事だと思います。私はこれを機会に、人間的魅力をつくる徳目を意識するようになり、教えを享受されたと思っています。私はまだその域に達していませんが、今でもこのことが行動規範になっております。行動といえば、たえずアップデートした文章作成と書類の体裁や整理整頓に対するこだわりがあった様に思えます。杉岡氏の作った文章は読まなくても体裁が綺麗なのですぐに分かりました。技工士会の役員たる者として、その立ち振る舞いにも言及されていたことを思い出します。ネクタイの形や歩く姿勢、靴やカバンにいたるところまで身だしなみに気を配りました。

私が本稿で表したいのは、2つあります。1つは「知行合一」すなわち、「あらゆる知識は具体的な日々の行動と一致させなければいけない」と言う教えに通ずるということであり、2つ目は「仁」を持つことです。技術や精神が優れている事、自分の正しさを端的に説明できる事、臆する事なく行動できる事など必要な条件ではありますが、人として感謝を忘れず情をかけられる器があってこそ多くの人に慕われる尊敬される人になれると、私はこの出会いから人生の教訓と学びました。

ここで杉岡氏の経歴を簡単にご紹介すると、平成19年に社団法人北海道歯科技工士会会長に就任してからは、公益法人移行への準備期間という大きな変革の時期にあって、その準備をすすめ公益法人北海道歯科技工士会を誕生させました。同時期に財務状況を精査しながら、技工士会館の改修工事に着手し、1階会議室、2階のトイレ、3階事務室、会長室を数年に渡り計画通りに終えたのでした。

「仕事は忙しい人に集まってくる。」という言葉聞いた事があると思いますが、杉岡氏を見ていると、まさに前述した言葉が当てはまります。

日本歯科技工士会もまた、公益法人移行への準備期間であり、さらに激動の最中にあった中西（元）日技会長の時期に杉岡氏は、平成20年に財務委員長に就任しました。さらに紛糾していた新会費の設定を審議する日技会費額検討委員会という難解な案件が山積していた委員会に召集せられていきました。そんな中でも一定の結果を導いた杉岡氏に、平成



24年当時、古橋（元）会長は日本歯科技工士会副会長を熱望され、その職に就きました。その後も平成24年まで北海道歯科技工士会会長として活躍されました。

今回、人や社会に貢献してきた杉岡範明氏について本稿を書きました。あらためてその業績に対し感謝を申し上げます。

まだまだ書き記したい事はあるのですが、私の視点にたって思い出されるほんの一部を紹介させていただきました。ライターが書けば、一冊の本になるくらいのボリュームになる内容になると思います。氏の歯科技工士会に対する業績にあらためて感謝を申し上げます。



Lilac 『ブラック』

函館歯科技工士会 会長 佐藤 浩充

コロナ禍も落ち着き日常に戻りつつあり、我が函館歯科技工士会も久しぶりに新年交礼会を執り行うことができました。そこで函館歯科技工士会会員皆様と顔を合わせることができ、大変喜んでおります。歯科技工士同士の横のつながりは、とても大切なものであります。夏場以降にも、函館歯科技工士会会員皆様と、交流の場を設けたいと思っております。

この度は、道歯技広報からの就労についての原稿依頼があり、自分自身の思いを勝手に書かせていただきます。

まず手始めに、歯科技工士の就労に関する動画をたくさん見ました。

…………… 陰鬱な気分させられました。

低賃金 長時間労働 労働環境 国家試験合格者数減 離職率 …… 『THE ブラック』

気が置けない歯科技工士の友人と話をすることがあります。

「医師や歯科医師に限らず、商店等の家業を継ぐということはよくあることで歯科技工士も何人かは知っている。でも、自分の所は男の子3人もいるのに親父の背中を見て、歯科技工士になりたいと言った奴は一人もいなかった……。あまりイイ背中見せられなかったね～」

積極的に勧めなかったのは、以下の理由がある。

1. 技術習得までに時間がかかる。
2. その間の給料は安い。
3. 拘束時間が長い。

なぜ自分がこの仕事を続けられているかというと、

1. 60歳をとっくに通り越し今更と感じている。
2. 裕福とは程遠いが、仕事に困った事はあまりない。
3. 気楽（責任は真っ直ぐに自分に返ってくる）。
4. ほんの少しだけ他の歯科技工士よりもコミュ力があるかも（自分で言っちゃダメ）。
5. 上手な気分転換の趣味がある。

こんなところでしょうか。

就労の様々な問題は決して良い状況でないことは、重々承知しております。

……………で、どうしたら？

偏った意見と前置きをしておきます。

何かに頼るのではなく自分自身がどうするか！どうしたいか！
フリーランスを目指し、スキルをアップさせてなりたい自分になる！

厚生省（今は厚生労働省）の罰則のない告示7：3もありますが、お取引先と市場原理に基づいて、良質な技工物を自由診療も含め、それに見合った自分の納得できる価格で提供し、ビジネスパートナーとしての信頼を得て、更に患者様に喜んでいただける仕事を生業とする。

正直なところ、「このようにしたいし、なりたかった」ですが、そんなに深く考えていなかった自分です。しかし、幸いなことに自分の周りには尊敬している先輩後輩、仲間がいてくれること、スライド写真の時代から後にはデジタル写真を撮影し、熱い意見交換したあの時間は自分にとっての財産になっております。

歯科技工士としてあと何年働くことができるかどうかわかりませんが、最後までしがみついていたと思っています。

とりとめのない文章で申し訳ございません。最後までお読みいただき感謝申し上げます。

写真は気分転換である趣味のドライブで撮ったものです。

①帯広のシマエナガのスイーツ



②浦幌神社の花手水



令和5年度 北海道歯科技工士会 優秀学生表彰コメント



札幌歯科学院専門学校 歯科技工士科2年
第51期生 松井 美久理 さん

この度は優秀学生表彰を賜り大変嬉しく思います。私は元から物を製作するのが好きであったこともありこの学校に入学しました。初めの方は殆どが日常では聞いたことのないような単語が多く、新しいことばかりで学科も実習もついて行くことに精一杯でした。しかし、先生方の丁寧な御指導や同級生達と切磋琢磨していく日々のお陰でこのような結果に繋がったのだと思います。

今後はどのような時も学びの姿勢を忘れず、一人でも多くの患者様の力になれるよう日々精進します。



吉田学園医療歯科専門学校 歯科技工学科
葛西 琴葉 さん

この度は、このような賞を頂き、誠にありがとうございます。2年間学んだことが形になり、とても嬉しく思っております。この賞を頂けたのは、学びやすい学校の環境や、家族が見守ってくれたおかげです。

賞を頂いたことを励みに、今後も精進したいと思います。



北海道歯科技術専門学校
本科2年 喜井 未奈 さん

この度は、榮譽ある賞をいただき誠に光栄に存じます。この賞は自分独りだけで取れたものではなく、ここまで支えて下さった先生方や同じ目標に向かって切磋琢磨し合えた同期の仲間があってのことだと感じております。今後は、この賞を励みに歯科技工士として、一人でも多くの患者様のお役に立てるよう精進していきたいと思っております。

● ● 歯科技工における手話表現・見える言葉 ● ●

札幌歯科技工士会 工藤 三重子

日本歯技・2024・6の巻頭言「デジタル化時代における歯科技工士免許の管理・活用」において「行政官庁では、医療を含む80以上の国家資格について、マイナンバーを利用した手続のデジタル化（資格取得・抹消・更新等の手続時の添付書類の省略等）を進めており、令和6年度中には資格保有者がマイナンバーカードを活用して証明や提示が可能になる予定である。」とのこと、そこで、今回はマイナンバーカードの表現を調べて見ました。

新しい手話の動画サイト（www.newsigns.jp）では、「マイナ」の手話表現※でした。マイナポータルのキャラクターのウサギの耳でしょうか。そこで手話通訳をされている方、聴覚障害者の方、何人かに「マイナンバーカード」「マイナカード」の手話表現を聞いてみました。その表現は二通り程でした。「マイナ」の手話表現についての皆さんの反応は「なるほど。へえー」、浸透はまだのようでした。

参考・ウサギ	「マイナ」	カード
口形：ウサギ	※	口形：カード
		
ウサギの長い耳、手の甲を相手に見せます。 手話表現→（ウサギ）	片側の手のひらを相手に向け4指を前に倒す（左右どちらでも可） 新しい手話の動画サイト（ www.newsigns.jp ）より	両手人差し指と親指でカードの形を作る。 手話表現→（カード） ポイント：表現はカードのサイズによって変わります。

2024年度北海道デフ歯科技工士協議会主催歯科技工用語手話研修会は10回開催予定です。

他にオンラインで日曜日19時より「歯の手話フリートーク」は希望者のみで行っています。詳しくは北海道歯科技工士会にお問い合わせください。



理事会報告

2023年度 第8回理事会議事録

- 日時 2023年1月27日(土) 18:00～19:00 (Web会議)
 1 会長挨拶
 新型コロナウイルスの感染症対策が5類に移行した事を受けて、北海道への旅行者も多くなってきており人の動きが活発になってきている。理事者の皆様におかれましては今年一度、健康意識を高く持っていただきたい。
 本会は北海道歯科技工士会創立70周年という節目を迎えることから、その準備を進めたいと考えている。また直近で行われた道庁の立ち入り検査を受けて、定款等の軽微な変更についても早急に着手し、本理事会で各案件の方向性を決めたい。との挨拶があった。
- 2 承認事項
 事業および派遣役員承認の件……………【承認】
 入会者及び退会者承認の件……………【承認】
- 3 報告・協議事項
 (1) 全般
 ア 参与会規定の変更を、2025年度の社員総会で協議事項とする事について報告。
 イ 2023年度各部事業報告について報告。
 ウ 2024年度各部事業計画(案)について報告。
 エ 北海道歯科技工士会創立70周年記念大会について報告。
 オ 定款第10条に「電子公告により行う」旨の改正案を提案する事について報告。
- (2) 生涯研修
 ア 第167回北海道位科技工術研修会(旭川)(2024年2月17日)について報告。
 イ 第167回北海道歯科技工術研修会予算案について報告。
- (3) 広報
 ア ホームページの更新状況について報告。
 イ 道歯技広報30号のレイアウトについて報告。
 ウ 道技X(旧Twitter)・Facebook・Instagramの更新状況について報告。
 エ SNS委員会WEB会議(2024年1月15日)について報告。
- (4) 総務
 ア 2023年度第7回理事会議事録について報告。
 イ 2023年度優秀学生表彰について報告。
 ウ 離島派遣事業について報告。
- (5) 財務
 1 月期の執行状況について報告。
- (6) 法規
 道技代議員選挙管理委員会(地域選挙管理者・選挙告示)について報告。
- (7) 就労対策
 ア 1月末組織現況について報告。
 イ 卒業生に対する学校訪問説明会について報告
- (8) その他
 ア 2024年度日技准終身会員の申請手続きについて報告。
 イ 北海道社会貢献賞(優良医療労働者表彰)受賞について、戸島和之氏が受賞したとの報告。
 ウ 北海道作業療法士会名義後援依頼について報告。
 エ 日技「感染症予防講習会」開催意向について報告。
 オ 日技代議員選挙について報告。
 カ 日技認定講師の猶予期間(2024年2月19日)設置に伴う更新手続き申請状況について報告。
 キ 令和6年能登半島地震に伴う本会の対応について報告。
 ク CAD/CAM冠材料(PEEK材)に関する動画を日本歯科技工士会ホームページ上に動画配信(2月末日まで)の案内について報告。

2023年度 第9回理事会議事録

- 日時 2024年3月2日(土) 18:00～19:00
 場所 北海道歯科技工士会館
 1 会長挨拶
 始めに「発想を変える」「思い込みを手放す」という話がある。人間にとって何かを「考える」よりも既存の見解を「考え直す」事の方が、難易度が高いと言われている。これは自分が予期するものばかりを見ようとする人間としての傾向、「確証バイアス」があるからである。そして、何故このような事が起こるのかは、人間の脳のメカニズムが要因で、脳が楽をするために(面倒を避けるために)今いる場所を動かこうとしないものなのだと言われている。それ故に脳は考え直す事をせずに、過去の見識に囚われてしまい、既存の見解、つまり「考え直す」の難易度を高くしている。まずはこの事を理解しておいてほしい。本理事会で扱う事業も、過去に作成した政策や定款・諸規定等も例外ではなく、当然、見直しがあっても良いし、文章の書き方や時代に合った内容であるべきである。「考え直す」を忘れずにいたい。本日の理事会から実践していくので、各位よろしくお願いたい。との挨拶があった。
- 2 承認事項
 事業および派遣役員承認の件……………【承認】
 第11回社員総会日程および議案承認の件……………【承認】
 2024年度各部事業計画(案)承認の件……………【承認】
 2024年度会計収支予算(案)承認の件……………【承認】
 入会者及び退会者承認の件……………【承認】
- 3 報告・協議事項
 (1) 全般
 ア 「定款第10条の公告の方法」について報告。
 イ 第11回社員総会資料について報告。
 ウ 2023年度各部事業報告について報告。
 エ 2024年度各部事業計画について報告。
 オ 北海道歯科技工士会創立70周年記念大会(2025年11月15日予定)について報告。
- (2) 生涯研修
 ア 第167回北海道歯科技工術研修会(旭川)(2024年2月17日)について報告。
 イ 第167回北海道歯科技工術研修会決算書について報告。
- (3) 広報
 ア ホームページの更新状況について報告。

- イ 道歯技広報31号(2024夏)の「地域組織会長からの一言」の原稿依頼について報告。
 ウ 道技X(旧Twitter)・Facebook・Instagramの更新状況について報告。
 (4) 受託技工
 令和6年度診療報酬改定講習会(2024年4月27日道技会館予定)について報告。
 (5) 総務
 ア 2023年度第8回理事会議事録について報告。
 イ 令和6年度離島巡回診療日程(案)について報告。
 ウ 離島歯科診療派遣事業報告書(2023年度第3班)について報告。
 (6) 財務
 2 月期の執行状況について報告。
- (7) 法規
 ア 道技代議員選挙(道技代議員氏名)について報告。
 イ 定款第10条「公告の方法」第52条の改正(第11回社員総会協議事項)について報告。
 ウ 参与会規程一部改正の件(第11回社員総会協議事項)について報告。
- (8) 就労対策
 ア 2月末組織現況について報告。
 イ 卒業生に対する学校訪問説明会(2024年2月20日札幌歯科学院専門学校)について報告。
- (9) その他
 ア 日本歯科技工士会2023年度第7回理事会議事録について報告。
 イ 北海道庁立ち入り検査(11月25日)結果について報告。
 ウ 北海道医療・福祉関係職能団体意見交換会(2024年2月2日WEB)について報告。
 エ 道庁(歯科技工士法第21条第1項の規定に基づく開設届出のなされた歯科技工所の一覧のホームページ等への掲載の件)について報告。
 オ 日本歯科技工士会(国家資格等オンライン・デジタル化に伴う会員等のマイナンバーカード取得推進依頼)について報告。
 カ 北海道庁(口腔保健推進協議会第4回会議)について報告。

2024年度 第1回理事会議事録

- 日時 2024年4月13日(土) 18:00～19:00
 場所 北海道歯科技工士会館
 1 会長挨拶
 「独自の強み」を理事者各位がはっきりと「歯科技工士の強みはこれである。」と言えるものを共有しているでしょうか?何故そのような質問をするのかと言うと、歯科技工士の存在意義について今一度考えたいからである。例えば、シュリツピールの成功事例にも有るように、それは歯科技工士の存在を当たり前主張することなのかとも知れません。そのことを意識し、「言わなくても分かってくれているよね」ではなく、理事者各位が「歯科技工士の強みはこれである。」というものを納得して共有し、伝え続けなければならないのである。また、新企画の実行は、最初から完璧を目指すのではなく常にテストから始めるという気持ちを持って取り組んでほしい。との挨拶があった。
- 2 承認事項
 事業および派遣役員承認の件……………【承認】
 2023年度会計収支決算承認の件……………【承認】
 外部監事選任承認の件……………【承認】
 入会者及び退会者承認の件……………【承認】
- 3 報告・協議事項
 (1) 全般
 ア 第11回社員総会議事日程について報告。
 イ 第11回社員総会資料・補助資料について報告。
- (2) 生涯研修
 ア 第168回北海道歯科技工術研修会(札幌)(2024年6月15日)について報告。
 イ 第168回北海道歯科技工術研修会の予算案について報告。
- (3) 広報
 ア ホームページの更新状況について報告。
 イ 道歯技広報31号(2024夏)のレイアウトについて報告。
 ウ 道技X(旧Twitter)・Facebook・Instagramの更新状況について報告。
- (4) 受託技工
 令和6年度診療報酬改定講習会(2024年4月27日 道技会館)(2024年5月11日 旭川市)追加開催(旭川市)についての報告。
- (5) 総務
 ア 2023年度第9回理事会議事録について報告。
 イ 公益info(事業計画書等に係る提出書)申請について報告。
 ウ 2024年度離島歯科診療派遣事業について報告。
 エ 2024年度事業計画工程表作成について報告。
 オ 2024年度視察会開催中止について報告。
- (6) 財務
 3 月期の執行状況について報告。
- (7) 就労対策
 ア 3月末組織現況について報告。
 イ 卒業生に対する学校訪問説明会(2024年3月6日吉田学園医療歯科専門学校)について報告。
- (8) その他
 ア 第13回社員総会における日技役員選挙候補において藤王常務理事が立候補したとの報告。
 イ 令和6年度(2024年度)歯科技工士研修事業補助金交付要綱について報告。
 ウ 令和5年度公益法人検査結果一覧について報告。
 エ 2024年度新卒者入会推進制度の継続及び支給方法(日本歯科技工士会)について報告。
 オ 2024年度日技再入会奨励キャンペーンについて報告。
 カ 2024年度組織拡充事業支援金の支給について報告。
 キ 札幌歯科学院学校評価委員会委員委嘱について報告。
 ク 北海道デフ歯科技工士協議会定期総会について報告。

お知らせ

● ● 北海道歯科技工士会メーリングリスト登録について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、メーリングリスト構築並びにウェブを使ったセミナーを開催しております。まだ登録をされていない方は、公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、登録をお願いいたします。

<https://dougj.or.jp>

● ● 北海道歯科技工士会ホームページにおける会員ページへのログイン方法について ● ●

会員専用ページへのアクセスは、ログインフォームよりユーザー名とパスワードを入力しログインしていただくことで閲覧が可能となります。ユーザー名とパスワードは共に会員番号となっていますので、会員番号をご入力の上、ログインしてください。

● ● 公益社団法人北海道歯科技工士会 Facebook、Instagram、X 公式アカウントのお知らせ ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、Facebook、Instagram、X の公式アカウントを開設しています。本会に関わる情報を発信しています。最新の研修会案内も投稿します。是非、北海道歯科技工士会のフォローをお願い致します。



● ● 広報会誌の写真募集について ● ●

現在、年3回会員の皆様のもとにお届けしている広報会誌において、表紙等に使用させていただける写真を募集しております。ぜひご応募・ご提供いただけますようお願い申し上げます。

送付先 : e-mail dougj@abelia.ocn.ne.jp

■お問い合わせ先 : 公益社団法人北海道歯科技工士会 事務局

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8

TEL (011)717-7155 FAX (011)717-6954

e-mail dougj@abelia.ocn.ne.jp



公益社団法人 北海道歯科技工士会 活動・会員特典紹介

講習会・研修会の開催

厚生労働省後援の「歯科技工士生涯研修認定」
学術大会(年1回)学術研修会(年3回)をはじめ、
実技研修会・各セミナーを開催しています。
(Webによるハイブリッド開催も多数行っ
ています。)
会員は基本受講料1,000円で参加できます。
(卒後3年以内は無料)



情報提供

日本歯科技工士会が発行する「日本歯技」(毎月)のほかに北海道歯科技工士会が「道歯技広報」(年3回)を発行しています。
歯科技工に関わる最新の情報をホームページの会員限定ページやSNSにて、随時、情報発信しています。

歯科技工士仲間や関係団体との交流

各地域歯科技工士会において、地域歯科医師会・歯科衛生士会との共同行事や歯の健康週間をはじめとする市民貢献イベント等、様々な行事やボウリング大会・ゴルフ大会等、レクリエーションが行われています。



厚生労働省や関連団体との交渉窓口

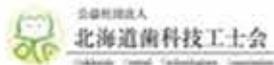
歯科技工業界のさまざまな問題を交渉し、歯科技工の職業・生活水準向上のため、全力で取り組んでいます。また、診療報酬改定などの情報をタイムリーに発信しています。

慶弔制度の充実

長寿祝金・出生祝金・死亡弔慰金・高度障害見舞金・火災見舞金・災害見舞金など慶弔制度が充実しています。

お近くに、まだ未入会の歯科技工士の方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。

ホームページ <https://dougi.or.jp>



Facebook・Instagram・X公式アカウントのフォローをお願いします。